



Variety 情報

V Member

業績や財務が見守られる鮮魚小売店チェーン、

の売上高は「」⇒「」と15期連続減少。最終損益は黒字計上だが浮き沈みがみられる。財務についても各種指標が微妙な水準で推移しているところ。まだ固まっていないとされる23年期の数字次第では改めて与信確認する向きが出てきそうだ。

惣菜パンほか製造の、事業移管が完了

惣菜パン、米飯食品の製造、パン小売のは再建の一環として同社代表が新設したに事業移管を進めていたがまでに事業移管が完了したもようだ。会社分割によるスキームとみられる。新設会社のはに商号が変更され、資本金もに増資。の役員複数がの役員に就任している。の直近決算は営業段階で赤字とみられ最終損益も4期連続で大きなマイナスで財務改善が課題となっていた。

焼き肉店に異変続発、「東京芝浦食肉市場」内で増える焦げ付きの話題

焼き肉店2店舗を運営し食肉卸も手掛けるがこのほど破たん。「芝浦市場近隣に店舗があり、複数の仲卸が取引していたようだ」（事情通）として一部仲卸に視線が向いた。先般、異変発生が取り沙汰された焼き肉店経営、に関しては「芝浦を仕入れ拠点にに単位の債権が残ったらしい」（同）との情報。市場筋は「今後も芝浦で焦げ付きの話題が増えるのではないかと警戒感を示している。

決済状況が見つめられる

『』『』を展開する外食企業、について「一部先への入金滞るケースが見受けられる」との情報業者筋から寄せられた。の代表は氏からに代わっているが、氏がトップになった背景を探る向きがある。業態と同名の新会社、が相次いで設立されたことも関心事に。代表は前者が氏、後者が氏。これらの情報について説明を受けていない取引先も少なくないともみられ、一部不信感がつよっている様子だ。

【問い合わせ】

警戒情報が流れる異業種企業、食品業界に接近の可能性

占い関連の事業を手掛けるの一部でマークされている。「同社の経営手法について警鐘を鳴らす向きが生じている」（消息筋）。同社と食品業界は無関係に見えるが、目的に「農産食料品、水産食料品、畜産食料品の販売及び輸出入」が記されており、同社代表は「今般、からへ移転した食肉企業、の新社長」と同一人物とのことだ。

